



特定非営利活動法人 **あい・友**

News Letter

特定非営利活動法人 あい・友
本部：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5
TEL:03-3458-1793 FAX:03-3469-5312
支部：〒530-0044 大阪市北区東天満 2-10-24
TEL:06-6357-8481
発行責任者：前田久美子 第6号 2011.10.12 発行

理事長挨拶

2010年度の総会を東京以外の所で開けるなんてことは考えられない事でした。全国区（内閣府公認）のNPOは世の中にたくさんありますが、実働の場所を自分たちで持ち且つ稼働しているNPOは非常に少ないと思います。その実働している場所で開けるなんてことは本当に嬉しいことです。私たちの目標であった、障がい者と高齢者が同じように働く場所を作るというNPOの主旨が、もう実現出来つつあるということ、本当に信じられないほどうれいことであり、誇りに思えます。総会後に開かれましたチャリティーコン



サートも大成功でした。青木村の歴史のお話、瓜生喬作、宝暦義民騒動「烽火よ、焦がせ大空を」を、会員の岩崎加根子さんの再演出で、義民太鼓の皆さんと共演させていただきました。新しい形のストーリーになっていて、「静の太鼓」の本分をいかに発揮していただけました。

この1年はいろいろな事が日本中にありました。東北の地震・津波は本当にお気の毒な事です。コンサートのチャリティーボックスにて集まった寄付金は、社会福祉法人つどいの家（仙台市若林区上飯田 1-17-58）にお送りして、直接的な復興の役に立てていただくことになっております。皆様のご協力で51,000円のチャリティーが出来ました。11月になり先方の受け入れが決まり次第、お持ちする予定です。

私どもにもいろいろな事がありました。去年の夏に植物工場内に虫が

湧きまして、約5ヶ月間以上、何の収穫もなく、修繕に明け暮れました。河本会員のお力添えで、支障なく再建できましたのが2011年の4月です。しかしながら、NPO法人だけで運営することは不可能だということも現実問題としてはっきりとしました。理事や小さな企業の好きからの持ち出しだけではやっていけないという現実が、我々の前に立ちました。そこで、理事間で何か月かけて相談した結果、農園部分をNPOから切り分けて、母体のしっかりした企業に運営部門をやってもらう方法がベストであるという結論にたどり着きました。2011年10月1日をもって株式会社エフイーシー（代表取締役社長樋口武司氏）に運営を委託しました。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

（理事長：前田久美子）

第4回定時総会／「青木村ふれあいツアー」が開催されました

8月28日（日）、青木村文化会館にて第4回定時総会が開催されました。あい・友農園があり、また昨年青木支部の発足した青木村にて総会を開催することができ、地域に根付いた活動を目指すあい・友にとって、記念すべき総会となりました。

（総会の詳細は、p4の議事録をご覧ください）。また「青木村ふれあいツアー」と称し、総会・チャリティーイベント参加の他、農園の見学、懇親会を兼ねた1泊2日のツアーを実施し、東京より総勢19名の方にご参加いただきました。



▲あい・友農園の前にて、ツアーメンバーで記念撮影

チャリティーコンサート「青木村義民太鼓と一人芝居」

第4回定時総会特別企画として、チャリティーコンサート「青木村義民太鼓と一人芝居」、手話ダンスが総会と同会場の青木村文化会館にて開催されました。当日は、250名近くの方にお越しいただき、2時間半にわたるコンサートをお楽しみいただきました。今回のチャリティーコンサートは、東日本大震災で被害を受けた障がい者施設へ寄付を行うことを目的の一つとし、コンサート当日は、聴覚に障がいをお持ちの方にも楽しんでいただこうと、手話での同時通訳を行いました。また、あい・友農園で働く、「クロスロードあおき」の障がい者の方々や、同事業所の所長、湯原正行様にもお越しいただきました。

・ 開会式

当法人の前田理事長挨拶の後、青木村宮原村長はじめ関係諸団体



様をお招きし、感謝状の贈呈が行われました。今回のチャリティーコンサートは、後援として青木村、青木村教育委員会がついてくださり、また、青木村義民太鼓保存会、こまゆみ会、ハローあおき、俳優座女優の岩崎加根子氏（あい・友会員）など多くの方々のご協力があって、実現が可能となりました。



▲義民太鼓保存会の宮入さんと多田さん

宮原村長のご挨拶▶



・ 和太鼓演奏

義民太鼓は主に「青木村義民太鼓保存会」で顕彰され、大人で構成する本来の保存会と小学生から高校生までの子供たちが中心の「こまゆみ会」があります。「こまゆみ会」は、今年の8月に行われた「第14回日本太鼓ジュニアコンクール 長野県大会」で優勝

した実績があります。今回は、けなげでたくましい農民の意気と根性をたからかに、一糸乱れぬ大迫力の演奏と口上で、会場を沸かせました。



▲観客を釘づけにする太鼓の演奏は、まさに大人顔負けの演技

・ 手話ダンス



ダンスとともに、歌の歌詞を手話で表す、手話ダンス。手話ダンスサークルのハローあおき、マロンの方々、聴覚に障がいを持っ

た方でも、歌やダンスを楽しんでもらおうと、日々活動を行っています。その2グループが、「見上げてごらん夜の星を」などを公



演し、最後には、会場の観客全員で「ふるさと」を手話の振り付け付で、歌いました。初めは慣れない手話で見よう見まねでやっていましたが、3番目になるとどこちなさもなくなり、大合唱となりました。小さな子供からお年寄りまでいる会場の観客全員が、一体となった素晴らしい瞬間でした。

「青木村義民太鼓と一人芝居」



◀ 舞台バックの垂れ幕は、この民話朗読のためにつくられたものを今回使用させていただきました。

チャリティーコンサートのメインイベントである「青木村義民太鼓と一人芝居」では、俳優座女優の岩崎加根子氏による義民一揆の民話の朗読と、義民太鼓の共演が行われました。

岩崎氏の民話の朗読が始まると、さっきまでの空気とはガラ



りと変わり、一揆の切迫した雰囲気会場を包みました。青木村は昔から、「夕立と百姓一揆は青木村から」と言われるくらいに一揆の首謀者が多く出ており、同じ地区から5回の一揆がおこったのは全国最多です。己の死は覚悟の上で、地域農民の生活を守ろうとして藩主に直訴し処刑された先人は義民として各地区で祭られ、供養されてきました。今回は、最初の一揆で直訴した庄屋の増田与兵衛の事件を題材とした「一宝曆義民騒

動一『烽火よ焦がせ大空を』(今井文栄著「一揆上田藩宝曆騒動より材を得て」(作・瓜生喬)に独自のアレンジを加え、岩崎氏が演じました。

朗読の途中、ほら貝が鳴り響いたり、笛や太鼓の迫力ある演奏が、緊迫したムードを更に盛り上げ、観客は、その場にいるような、素晴らしい空間を体験しました。



事務局だより

設立当初は、どうやったら障がい者、高齢者の方々の安定した働く場が創出できるだろうか、と試行錯誤しておりましたが、設立から4年、運営を企業に委託することとなり、ようやく当初の目的が達成されようとしております。また、今回のような大規模なコンサートが開催できるようになったのも、会員はじめ青木村の多くの方々のご協力があり、可能となりました。ありがとうございました。

★会員を募集しております★会員ご希望の方は、事務局までご連絡ください
(mail:jimukyoku@aiyuu.org / 電話：03-3485-1793)。

★あい・友 HP ★ <http://www.aiyuu.org/> (あい・友の日々の活動がご覧いただけます)



・ 第4回定時総会議事録

第四回定時総会 議事録

特定非営利活動法人 あい・友

■開催日時：平成23年8月28日（日）
自 午後1時 至 午後1時45分

■開催場所：青木村文化会館 第1研修室（長野県小県郡青木村大字沢 3252）

■正会員数：33名
■出席した正会員数：13名
■委任状を提出した正会員数：13名

1. 開会
定刻に至り、司会者 正会員の樋口武司氏が開会を宣した。

2. 理事長挨拶
前田久美子理事長より、議事内容とポイントについて説明がなされた。

3. 議長、議事録署名人の選出
本日の出席者数の報告があり、本日の総会が適法に成立したことを述べ、議事進行上議長の選任方法を踏ったところ、出席者の推薦により、前田久美子理事長が議長に選出された。続いて、議長から議事録署名人名人に、理事 山内志津子、正会員 豊村泰彦、書記に正会員 小倉明美を指名により選出し、異議なく承認された。その後議案の審議に入った。

4. 議事経過 および 議案別議決結果

第1号議案 2010年度事業報告
第2号議案 2010年度会計報告
第1号議案については、樋口武英副理事長より、第2号議案については、藤田邦成理事より説明があり、次いで、当日欠席であった永井伸一監事より委任され藤田邦成理事が監査報告書を読み上げ、事業執行と事業報告の妥当性について報告を行った。その後、議長が議場に対して挙手による採決を求めたところ過半数に達し第1号議案 および 第2号議案は承認、可決された。

第3号議案 2011年度事業計画案
第4号議案 2011年度収支予算案

1

第3号議案については、樋口武英副理事長より、第4号議案については、藤田邦成理事より説明があった。また、第3号議案に関して、樋口武英副理事長より、「あい・友農園・青木村」の運営を10月1日より、株式会社FECという樋口武英副理事長が社長を務める東洋技研株式会社のグループ会社が運営を行っていく予定である旨が報告された。報告後、正会員 河本龍男氏より、「2011年度の事業計画案と収支予算案で整合性が取れていない箇所がある」との指摘があった。指摘に関して、樋口武英副理事長より、運営を他企業に委託するという事業計画が承認されるかどうかは、総会によって決定されるため、現行のまま、あい・友が運営を行った場合での予算を立てたとの説明があった。その後、議長が議場に対し挙手による採決を求めたところ過半数に達し第3号議案および第4号議案は承認、可決された。

第5号議案 その他
議長が、議場に対して、質疑応答を求めたところ、特に議場からは出ず、その他の審議はなしとした。

6. 閉会
以上をもって本日の議事はすべて終了したため、議長は閉会を宣言した。

なお、本議事録が正確であることを認められるため理事長 前田久美子および理事 山内志津子、正会員 豊村泰彦は下記に記名捺印する。

平成23年9月1日

理事長 前田 久美子 

理事 山内 志津子 

正会員 豊村 泰彦 

2

・ 2010年度収支決算書

(法第28条第1項「前事業年度の特定非営利活動に係る事業会計収支計算書」)

2010年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

2010年6月1日から2011年5月31日まで
特定非営利活動法人 あい・友

科 目	金額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1 入会金・会費収入		
入会金収入	10,000	
会費収入	388,000	398,000
2 寄付金収入	80,371	80,371
3 雑収入		
受取利息	1,157	1,157
経常収入合計		479,528
II 経常支出の部		
1 管理費		
雑給	150,000	
事務局運営経費	97,960	
事務費	3,760	
通信費	50,235	
支払手数料	12,022	
諸会費	40,000	
旅費交通費	45,500	
ホームページ維持費	9,000	
雑費	55,880	464,357
経常支出合計		464,357
経常収支差額		15,171
III その他資金収入の部		
1 借入金収入	980,000	980,000
その他資金収入合計		980,000
IV その他資金支出の部		
1 その他の事業会計へ繰出	6,047,576	6,047,576
その他資金支出合計		6,047,576
当期収支差額		-5,852,405
前期繰越収支差額		5,425,654
次期繰越収支差額		373,249

以上の通り提出する。 2011年 5月 31日

理事長 前田 久美子 _____

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認める。 2011年 5月 31日

監事 永井 伸一 _____

(法第28条第1項「前事業年度のその他の事業会計収支計算書」)

2010年度 その他の事業会計 収支計算書

2010年6月1日から2011年5月31日まで
特定非営利活動法人 あい・友

科 目	金額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1 事業収入		
農業工房事業	1,628,351	1,628,351
2 雑収入		
受取利息	58	58
経常収入合計		1,628,409
II 経常支出の部		
1 事業支出		
野菜苗材料費	312,388	
委託事業費	66,600	
植物工場家賃	2,400,000	
作業員パート代	2,584,824	
水道光熱費	1,669,070	
消耗品費	945,978	
発送配達費	23,788	
設備費	244,531	
修繕費	47,526	8,294,705
2 管理費		
雑給	150,000	
事務用品費	23,853	
通信費	159,211	
会議費	88,423	
旅費交通費	472,333	
諸会費	6,000	
新聞図書費	3,450	
租税公課	6,050	
支払手数料	29,825	
雑費	43,470	982,615
経常支出合計		9,277,320
経常収支差額		-7,648,911
III その他資金収入の部		
1 借入金収入	1,840,000	1,840,000
2 特定非営利活動に係る事業会計からの繰入	6,047,576	6,047,576
その他資金収入合計		7,887,576
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計		0
当期収支差額		238,665